

## 令和5年度新たな取組みについて

### 1 ピアサポート活動の支援

認知症の方ご自身が、その経験を基に、認知症と診断されて不安を感じている方等を勇気づけ、将来の生活に希望を持てるよう支援する。認知症の方が、ピアサポートとして活動し、地域を支える一員として活躍することで、認知症の方の社会参加につながる。

～令和4年度

- 認知症カフェにおける当事者同士の交流支援
- 認知症の方が参加する認知症介護家族交流会の開催
- 認知症啓発月間における認知症の当事者による講演



令和5年度～

- NPO 法人が開催している認知症の方の集まりでの交流支援
- 認知症疾患医療センターにおけるピアサポート活動との連携

### 2 認知症にやさしいデザインの普及

イギリススター・リング大学認知症サービス開発センターが提唱する「認知症にやさしいデザイン」を普及し、ハード面からの「認知症にやさしいまちづくり」を進める。

認知症の人にも理解しやすい、安心できるデザインによる環境を整えることにより、認知症の人の混乱や不安を軽減し、尊厳を保ち、その人らしくできるだけ長い間自立て生活できることを支援する。

具体的には、認知症にやさしいデザインの考え方を広めるため、10月上旬にイギリススター・リング大学認知症サービス開発センター主席建築士のレスリー・パーマー氏を招き、市民向けに啓発セミナーを開催する。

#### 【認知症にやさしいデザインの主なポイント】

- ・色（明度）の組み合わせ
- ・サインと目印の活用
- ・明るさの調整
- ・親しみや安心感への配慮
- ・安全な屋外空間